



(公財) 福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

### ブラジル移民110周年記念式典慶祝訪問団がブラジル国サンパウロ市を訪問

今年、日本からブラジルへの官制移民が始まって110周年に当たり、ブラジル国内では、各地で記念行事が行われました。7月21日(土)にサンパウロで開催された「ブラジル日本移民110周年記念式典」には、秋篠宮眞子内親王殿下もご出席され、「日本からの移住者を温かく受け入れてくださったブラジル政府とブラジルの方々へ感謝するとともに、移住者とそのご子孫が、努力を積み重ねて今日の日系社会の発展を築き、支えてこられたことに心より敬意を表します。」とご挨拶がありました。福岡県からは服部副知事、井上県議会議長をはじめ、県議会各会派代表議員等で構成された訪問団が、派遣されました。そして、式典には、福岡県海外移住家族会の方々も出席されました。

7月20日から22日の3日間には、記念式典にあわせて、日本の食と文化を発信する世界最大の日系人の祭典である「日本祭り」が同時開催されました。福岡県もブースを設置し、県内市町村からご提供いただいた特産品や、八女茶の試飲を行いました。また、太宰府の「梅酒」や「梅が枝餅」を展示・提供し、太宰府の観光PRも行いました。



【110周年記念式典】



【記念式典に臨席する訪問団】



【日本祭りの福岡県ブース】

### 福岡県人会の子弟が福岡県を訪問し母県の歴史や文化を体験

平成30年7月に、8ヶ国11県人会から子弟21名と引率者10名が、福岡県へやってきました。この事業は、招へいした子弟や引率者が、母県に対する理解を深め、将来、県人会活動を盛り上げるリーダーとして育ててもらふこと、それぞれの国々と福岡・日本との交流の一翼を担ってもらふことを目的としており、今回で11回目を迎えました。今回を含め、これまでに212名の子弟と106名の引率者が、本県を訪問しています。参加者たちは、同年代の子どもたちとの交流や、日本文化の体験などを通して、ルーツである日本・福岡県についての理解を深めました。

#### ■スケジュール 平成30年7月6日(金)～17日(火)

- (1) 同世代の子どもたちとの交流 : 那珂小学校、木屋瀬小学校、宗像市内の小学生との交流
- (2) 福岡の魅力に触れる : 宗像大社、防災センター、青少年科学館、ちくご手作り村
- (3) ルーツを探る : 親戚、知人宅、家族会会員、ボランティア宅へのホームステイ
- (4) 日本文化体験 : 茶道、和太鼓、浴衣着付け、そうめん流し、竹細工作りなど

#### 茶道体験



#### 浴衣着付け



礼儀正しくすること、ありがとうと誰にでもいうことを学びました。私のひいおばあさんが100歳になった、この特別な年に自分のルーツについて学ぶことができとても光栄です。  
 タッパージョーダン (ハワイ)

親の手伝いもなく、一人で考えて、行動できることを学びました。このプログラムで作った友達と一緒に経験した様々なできごとは、絶対忘れません。  
 片山シャンティ蒼空 (バンクーバー)

帰国後、日本語を頑張って勉強しています。  
 ナガハママドックス (ペルー)

#### 小川福岡県知事を表敬訪問



#### ■参加者数

県人会名	子弟数	引率者数
ブラジル	4	1
在ボリビア	2	1
コロンビア	2	1
南加	2	0
シアトル・タコマ	1	1
ハワイ	3	1
コナ	1	0
メキシコ	1	1
ペルー	2	1
パラグアイ	1	1
バンクーバー	1	1
トロント	1	1
合計人数	21	10